

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 いわき市 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	いわき市立桶売小学校 第2～6学年 9名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育科 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピックに出場した選手と触れ合うことで、スポーツの意義や価値の理解と、オリンピック・パラリンピックやスポーツについての興味・関心を高める。
5 取組内容	本校では、地元福島県出身のリオオリンピック陸上三段跳代表山下航平選手を招いてお話を聞く活動を中心に、以下の取組を行った。 (1) 事前調べ学習(9月～10月) ① オリンピック・パラリンピックについて ② 来校オリンピックの競技について ③ 来校オリンピック自身に関わることについて (2) オリンピック競技(三段跳)体験 (3) 講演会(11月6日(火) 11:20～13:00) ① 講演会・実技 ② ふれあい給食会 (4) 事後学習(11月～12月) ① お礼の手紙作成 ② パラリンピック競技体験



6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験談と実技を交えながらの講演会は本物に触れるよい機会となり、子どもたちの心の中に深く響く取組となった。</li> <li>○東京オリンピックへの期待・関心と、親近感をもって応援する気持ちの醸成が図れた。</li> <li>○山間部の小規模校にとって本物を観る数少ない機会と捉え、近隣小中学校や地域住民に通知することで、自校も含め6校の児童生徒の参加を募ることができた。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 地元福島県出身のオリンピック出場選手を招聘した。</li> <li>(2) 事前の学習でオリンピック・パラリンピックについて、招聘する選手について調べ学習をして、講演会に臨んだ。</li> <li>(3) 講演会の開催にあたっては、近隣小中学校や地域住民に通知し、講演会への参加を募った。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山間部の学校ということもあり、招聘するにあたって宿泊・交通機関等の選択肢がかなり狭まってしまう。</li> <li>○小規模校のため、講演等に参加できる人数が限られてしまう。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京 2020 教育プログラム「ようい、ドン！」に参加する。</li> </ul>